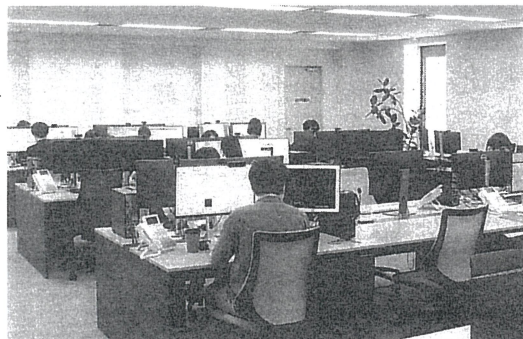


ZEB一次診断事業が好調推移

イエタス



非住宅は東京事務所のスタッフ10人で対応している

イエタス（東京都、中村迪彦社長）は非住宅建築物向けの「ZEB一次診断」の実績が増えている。2016年から開始した事業だが、23年度から急速に診断件数が増え、昨年度のZEB一次診断を含むZEB申請サポートは約700件と、22年度までの倍以上に増加している。ZEB需要自体が増えているほか、省エネ基準適合の義務化を経て30年以降の新築建築物へのZEB適用を意識したニーズ増加とみている。

非住宅・共同住宅のサポート業務拡充

同社のZEB一次診断を可視化することで、断は、建物の基本情報や設備情報を基にしてZEB化の実現可能性を簡易的に診断できるもの。省エネ性能やエネルギー削減効果、ZEB達成に向けた課題を提案している。標準入力法では、図面の確認や計算、基準達成を支援しており、まずは依頼主から図面や資料を入手する。顧客側の希望に応じて必要となる工程や進め方、スケジュールを確認し、図書を基にした計算を実施する。その後、基準に満たなかった場合、変更が発生した場合（変更内容によって別途費用が発生）にも対応し、仕様が決まら計算書と設備資料をそろえて納品する流れ。建物規模によるが、図面がそろっていれば一次診断の納品は1週間後からが目安になる。

同社は01年2月の設立以来、主に戸建て住宅を中心にサポート事業を展開してきた。近年は省エネ施策が急速に進行していることもあり、非住宅や共同住宅の相談が増加している。同社では顧客ニーズの充足のため、非住宅や共同住宅について

もサポート業務（省エネ適合性判定申請図書作成・申請代行、省エネ計算、ZEB取得相談、BELS申請図書作成等）を開始し、事務所、店舗併用住宅、サービス付き高齢者住宅、マンションなどに

対応している。住宅性能評価や長期優良住宅などのサポート件数は、累計3万7

745件（3月末時点）で、うち非住宅（BELS含む、16年度からの集計）は2639件となっている。

昨年度の内訳詳細は、住宅性能評価サポートが1052件、構造検討のみが364件、非住宅・共同住宅省エネで921件、ZEB692件、CASBEEが9件、構造図作

成・構造計算が125件などとなっている。非住宅物件の対応は本社の東京事務所で約10人の社員で対応している。ZEB一次診断のサービスは主にゼネコンや設計事務所などに向けて事業内容の認知向上に努めており、一度利用した顧客のリピート率が高い特徴もある。